２０２６年３月３１日
ＥＩＮ　エネルギー情報ネットワーク

ＬＰガスＣＰ速報（２０２６年４月積）

１．　４月積みサウジアラムコＬＰガスＣＰ
プロパン７５０ﾄﾞﾙ（前月比＋２０５ﾄﾞﾙ）
ブタン　８００ﾄﾞﾙ（前月比＋２６０ﾄﾞﾙ）

①　ＬＰガススポット市況等

米、イスラエルによるイラン戦争が、エネルギー市場をショック状況に陥れた。イランによる報復攻撃はペルシャ湾岸諸国に及び主要製油所、ターミナルが停止に追い込まれ、ホルムズ海峡の事実上の封鎖により、中東産原油、石油製品，ＬＮＧの輸出が途絶えた。サウジは紅海ヤンブー積みを最大化しているが限定的、米国産の供給増にも限度がある。中東産ＬＰガスに依存するアジア各国はパニック状態、戦争の拡大、長期化が懸念され、需給が逼迫しているのにもかかわらずＣＰ先物は期先高となっている。

米国市場をみると、需要は堅調、輸出は好調が続き、過去最高水準（グラフ③参照）で推移している。全米プロパン在庫は、供給増や荷役の遅延もあり増加、超高水準で5年平均レンジを上抜けている（グラフ②参照）。モンベルビュープロパンスポット価格は原油市況とアジア市場の急騰もあり月間平均では前月比83ﾄﾞﾙ反騰の400ﾄﾞﾙ／ﾄﾝどころ。

フレート市況は上昇した。米・イラン戦争でホルムズ海峡が事実上封鎖され、中東積みポジションの船舶は米国に回航、中東～極東市場はタイト化し市況が上昇した。米国タルガの冷凍設備不良によるターミナル停止で荷役に遅延もありＣＦＲ市況が上昇、ＭＢ価格の上げは限定的でフレート市況は米国～極東170ﾄﾞﾙまで上昇。バンカーオイルが暴騰し、ＬＳＭＧＯは前月比平均価格で2.4倍、フレート市況を押し上げている。

ナフサ市況（極東着）は急騰、月間平均は前月比370ﾄﾞﾙ上昇の974ﾄﾞﾙ／ﾄﾝどころ、30日には1,193ﾄﾞﾙまで上げている。ホルムズ海峡封鎖で、中東産の原油、ナフサ（世界の約4割）の輸出が途絶、石油ショック状態。ナフサ高で代替ブタン需要増が見込まれる。

バンカーオイルをみると、シンガポールＩＦＯ380は大幅急騰、月間平均で前月比328ﾄﾞﾙ上昇の766ﾄﾞﾙどころ、ＬＳＭＧＯ（低硫黄マリンガスオイル）は暴騰、前月比930ﾄﾞﾙ上げ,2.36倍の1,616ﾄﾞﾙどころ。原油市況の上昇に連れ、ガスオイルは4日に1,000ﾄﾞﾙを突破し、中旬には1,920ﾄﾞﾙに達した。アジアの石油製品需給の逼迫感は危機的状況。

４月ＣＰは前年同月比プロパン135ﾄﾞﾙ、同ブタン195ﾄﾞﾙの上昇。原油（アラビアン・ライト）熱量等価換算（下記参照）では、前月に比べプロパン23、ブタン18ポイントそれぞれ下落、前年同月比ではプロパン25ポイント、ブタン18ポイントそれぞれ低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート（中東―日本）	110	105	120		
ＣＰ先物指標：Ｐ	650	580	615		
ＣＰ先物指標：Ｂ	645	575	610		

②　原油市況等

米､イスラエルは2月28日イランを攻撃､最高指導者ハメネイ師をはじめ多数の高官を殺害、イランは報復として湾岸諸国の米軍施設などを攻撃、戦争は報復の応酬で、戦線は拡大、サウジのラスタヌラ、カタールラスラファン、ＵＡＥフジャイラなど石油関連設備に被害が及び、ペルシャ湾の要衝ホルムズ海峡が封鎖され、世界のエネルギー市場にショックが走った。原油石油製品市況は暴騰、ＷＴＩは30日に2022年7月以来の100ﾄﾞﾙ突破、ＧＭＥオマーン原油は19日に上場来最高値を更新する166.96ﾄﾞﾙを記録した。ＩＥＡは石油備蓄の協調放出を決定したが、先が見通せない戦争に市況は高止まり、先物市場は、上振れリスクが怖くてショートポジションを手仕舞い、最悪シナリオを織り込み始めている。

○３月積みアラビアン・ライト（３月1～27日までの想定）は124.00ﾄﾞﾙ（前月比＋55.42ﾄﾞﾙ）
熱量等価ＡＬ100%　プロパン1,016.67ﾄﾞﾙ／ﾄﾝ　ブタン1,002.73ﾄﾞﾙ／ﾄﾝ
ＡＬ比　プロパン　73.77%　ブタン79.78%

＊上記ＡＬはＥＩＮ推計、確定値は後日Ｗｅｂサイトでご確認ください。

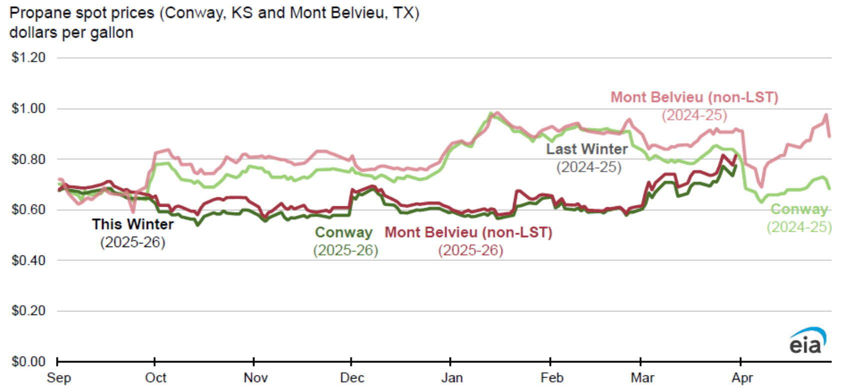
２．２０２６年４月ＬＰガス仕切（ＣＰ・ＭＢコスト変動分）への影響

適用為替	ＴＴＳ	Ｐ円建ＣＦＲ	Ｂ円建ＣＦＲ	Ｐ前月比	Ｂ前月比
３月月間	159.68	113,800	123,200	＋22,800	＋28,200

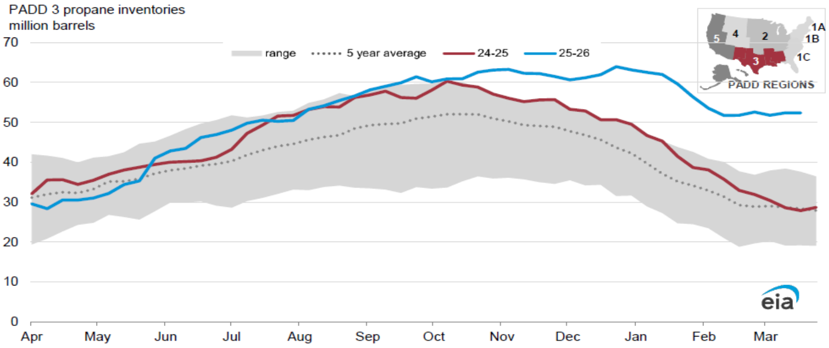
＊ＴＴＳ平均等について、上記は３月 1〜31 日までのＴＴＳ平均。ＣＰは前月・当月 50%案分。プロパンのＭＢ合成比率はＣＰ70%、ＭＢ30%で算定。ＣＦＲコストは中東・北米フレートを含むＣＦＲコストを表示。ＣＦＲコストには北米の基地経費等も含まれ、各社で異なる。

なお、上記ＭＢは３月 26 日までの価格を基にＥＩＮで試算（400 ﾄﾞﾙ/ﾄﾝ）したもので、メーカー各社の最終確定値とは異なる。また、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定やフォーミュラ見直しもなされるため、仕切等の詳細はＷｅｂサイトを参照。

①　米国プロパンスポット価格推移

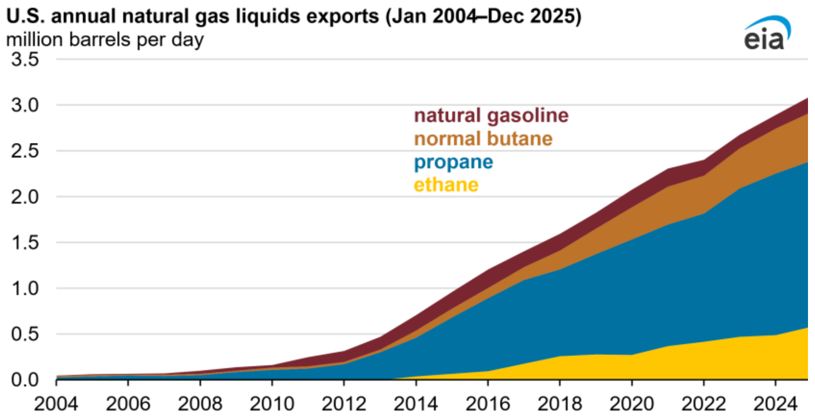


②　米メキシコ湾プロパン在庫推移



Data source: EIA, *Weekly Petroleum Status Report*, March 25, 2026. Data through March 20, 2026.
Note: PADD 3 is composed of Alabama, Arkansas, Louisiana, Mississippi, New Mexico, and Texas.

③　米国ＮＧＬ輸出量推移



出典：EIA